

2023年度 全国高等学校総合体育大会水泳競技大会

第91回日本高等学校選手権水泳競技大会

8月17日(木)～20日(日)	競泳競技	北海道・北海道立野幌総合運動公園水泳プール
8月17日(木)～19日(土)	飛込競技	栃木県・日環アリーナ栃木 屋内水泳場
8月17日(木)～20日(日)	水球競技	北海道・札幌市平岸プール

競泳競技

- ◇主催 (公財)日本水泳連盟・(公財)全国高等学校体育連盟・北海道・北海道教育委員会
江別市・江別市教育委員会
- ◇共催 読売新聞社
- ◇主管 (公財)全国高等学校体育連盟水泳専門部
北海道高等学校体育連盟・(一財)北海道水泳連盟
- ◇後援 スポーツ庁・(公財)日本スポーツ協会・NHK
(公財)北海道スポーツ協会・江別市スポーツ協会
- ◇特別協賛 全国高体連より提示された企業
- ◇協賛 全国高体連より提示された企業及び競技種目で協賛となった企業
- ◇期日
(1)開会式 8月17日(木) 9時30分～
(2)競技 8月17日(木)～20日(日) 4日間
(3)閉会式 8月20日(日) 15時50分～(予定)
- ◇会場
(1)開会式 北海道立野幌総合運動公園水泳プール
〒069-0832 北海道江別市西野幌481番地
(2)競技 同上
(3)閉会式 同上
- ◇公式計時 SEIKO
- ◇競技方法 2023年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則による。
(1)予選はタイムレースとし、B決勝・決勝は各8名(チーム)で行い、3名の補欠とする。
(2)400m以上の種目は予選と決勝を行う。その場合の補欠は2名(チーム)とする。それ以外の種目は予選とB決勝・決勝を行う。
(3)決勝進出において、同記録で定員より増加した場合は、スイムオフを行う。但し、自由形800m・1500m・男女4×200mフリーリレーは抽選とする。リレー種目のスイムオフは、予選競技と同じメンバーが同じ順番で泳ぐこと。
(4)B決勝は、予選申込者25名以上の種目に限って行う。
(5)B決勝進出において、16位が同着の場合は抽選を行う。また、補欠が同記録の場合は、抽選によって優先順位を決定する。
(6)競技は予選8レーン、決勝・B決勝8レーンとする。

◇競技種目・競技日程

(1) 競技種目

種 目	男 子	女 子
自 由 形	50m 100m 200m 400m 1500m	50m 100m 200m 400m 800m
背 泳 ぎ	100m 200m	100m 200m
平 泳 ぎ	100m 200m	100m 200m
バ タ フ ラ イ	100m 200m	100m 200m
個 人 メ ド レ ー	200m 400m	200m 400m
* フ リ ー リ レ ー	4×100m 4×200m	4×100m 4×200m
* メ ド レ ー リ レ ー	4×100m	4×100m

(2) 競技日程

第1日 8月17日(木)

1	女子	400m自由形	予 選	9	女子	200m 個人メドレー	B 決勝
2	男子	400m自由形	予 選	10	男子	200m 個人メドレー	B 決勝
3	女子	200m個人メドレー	予 選	11	女子	200m 平泳ぎ	B 決勝
4	男子	200m個人メドレー	予 選	12	男子	200m 平泳ぎ	B 決勝
5	女子	200m平泳ぎ	予 選	13	女子	400m 自由形	決 勝
6	男子	200m平泳ぎ	予 選	14	男子	400m 自由形	決 勝
7	女子	4×100mフリーリレー	予 選	15	女子	200m 個人メドレー	決 勝
8	男子	4×100mフリーリレー	予 選	16	男子	200m 個人メドレー	決 勝
				17	女子	200m 平泳ぎ	決 勝
				18	男子	200m 平泳ぎ	決 勝
				19	女子	4×100m フリーリレー	決 勝
				20	男子	4×100m フリーリレー	決 勝

第2日 8月18日(金)

21	女子	50m自由形	予 選	31	女子	50m 自由形	B 決勝
22	男子	50m自由形	予 選	32	男子	50m 自由形	B 決勝
23	女子	200mバタフライ	予 選	33	女子	200m バタフライ	B 決勝
24	男子	200mバタフライ	予 選	34	男子	200m バタフライ	B 決勝
25	女子	200m自由形	予 選	35	女子	200m 自由形	B 決勝
26	男子	200m自由形	予 選	36	男子	200m 自由形	B 決勝
27	女子	100m背泳ぎ	予 選	37	女子	100m 背泳ぎ	B 決勝
28	男子	100m背泳ぎ	予 選	38	男子	100m 背泳ぎ	B 決勝
29	女子	800m自由形	予 選	39	女子	50m 自由形	決 勝
30	男子	1500m自由形	予 選	40	男子	50m 自由形	決 勝
				41	女子	200m バタフライ	決 勝
				42	男子	200m バタフライ	決 勝
				43	女子	200m 自由形	決 勝
				44	男子	200m 自由形	決 勝
				45	女子	100m 背泳ぎ	決 勝
				46	男子	100m 背泳ぎ	決 勝

第3日 8月19日(土)

47	女子	200m背泳ぎ	予選	55	女子	200m背泳ぎ	B決勝
48	男子	200m背泳ぎ	予選	56	男子	200m背泳ぎ	B決勝
49	女子	100mバタフライ	予選	57	女子	100mバタフライ	B決勝
50	男子	100mバタフライ	予選	58	男子	100mバタフライ	B決勝
51	女子	100m平泳ぎ	予選	59	女子	100m平泳ぎ	B決勝
52	男子	100m平泳ぎ	予選	60	男子	100m平泳ぎ	B決勝
53	女子	4×200mフリーリレー	予選	61	女子	800m自由形	決勝
54	男子	4×200mフリーリレー	予選	62	男子	1500m自由形	決勝
				63	女子	200m背泳ぎ	決勝
				64	男子	200m背泳ぎ	決勝
				65	女子	100mバタフライ	決勝
				66	男子	100mバタフライ	決勝
				67	女子	100m平泳ぎ	決勝
				68	男子	100m平泳ぎ	決勝
				69	女子	4×200mフリーリレー	決勝
				70	男子	4×200mフリーリレー	決勝

第4日 8月20日(日)

71	女子	100m自由形	予選	77	女子	100m自由形	B決勝
72	男子	100m自由形	予選	78	男子	100m自由形	B決勝
73	女子	400m個人メドレー	予選	79	女子	100m自由形	決勝
74	男子	400m個人メドレー	予選	80	男子	100m自由形	決勝
75	女子	4×100mメドレーリレー	予選	81	女子	400m個人メドレー	決勝
76	男子	4×100mメドレーリレー	予選	82	男子	400m個人メドレー	決勝
				83	女子	4×100mメドレーリレー	決勝
				84	男子	4×100mメドレーリレー	決勝

◇申込規定

1. 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。ただし、休学中、留学中の生徒は除く。
- (2) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し2023年度(公財)日本水泳連盟競技者登録を完了した者に限る。
- (3) 年齢は、2004年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する)

大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
- (4) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。

(5) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。

ア 部員不足に伴う合同チーム

(都道府県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められた場合)

詳細は、(公財)全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」による。

イ 統廃合対象校による合同チーム

(統廃合完了前2年間に限る)

- (6) 複数校合同チームの大会参加は認めない。ただし、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り合同チームによる大会参加を認める。
- (7) 転校・転籍後1年未満の者は、参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住等

やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。

(8) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長および所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

(9) 参加資格の特例

ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、別途に定める規程に従い大会参加を認める。

イ 上記(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

【大会参加資格の別途に定める規程】

1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加資格を認める条件

ア (公財)全国高等学校体育連盟の活動の目的を理解し、それを尊重すること。

イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修学年限とも高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。

ウ 各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。

エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失わず、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合せ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

(10) 前記(1)～(8)の他、以下によって参加資格を得た者。なお、地域大会に申込みした者に限る。

ア 地域大会において、各決勝種目3位までの入賞者、またはチーム。

イ 地域大会において、予選および決勝を問わず全国大会の標準記録を突破した者、またはチーム。なお、同タイムも含む。(リレー競技の第1泳者および1500m自由形の800mにおける正式時間は含まない。)

〈ア、イの確認事項〉

注1 都府県大会の記録で出場することは認められない。

注2 決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。

注3 フリーリレー、メドレーリレーは、地域大会において、予選・決勝で出場資格を得たメンバーの4名を含む5名を申し込むことができる。その全員が地域大会に参加していることを条件とする。ただし、競技の際は個人種目に出場する者と交代させることができる。

注4 全国大会へのエントリータイムは、地域大会の予選・決勝のうち速いタイムとする。~~ただし、アに該当する場合は、出場資格を得た決勝での記録とし、予選で標準記録を突破している場合は予選の記録とする。~~

注5 地域大会が開催できなかった場合、または都府県単位で参加が認められなかった都府県は各都府県大会の記録を採用する。

注6 地域大会及び都府県大会ともに開催できなかった場合には、2022年4月1日以降2023年7月25日までの長水路公式記録を採用し、出場を認める。(ただし、個人種目のみとし、リレー種目は除く。)

ウ 各都府県特別措置

地域大会において、全国大会の出場資格を得なかった都府県は、男女各1名を1種目のみ、出場資格者として各都府県の高等学校体育連盟および加盟団体に推薦することができる。出場資格者が男女どちらか一方の場合は、出場資格がない方について1名1種目の推薦を認める。

注1 推薦は自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの100m、200m、および200m個人メドレー、50m自由形の種目中、地域大会において全国大会の標準記録に最も近い記録の者とする。

エ 全国大会開催都府県特別措置

開催都府県で、自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライの100m、200m、および200m個人メドレー、50m自由形の種目において出場者を得られなかった場合は、地域大会の上記該当種目に出場した最上位の者、男女各1名を、大会出場者として全国大会開催都府県の高等学校体育連盟および加盟団体に推薦することができる。

※ 北海道は、1道1地域のため、ウおよびエの特別措置の対象とはならない。

オ 全国大会特別措置

選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため、予選会に出場することができない場合は、予選会への出場を免除する。リレー種目についても、予選会において代表選手がチームの一員として出場し、全国大会標準記録を突破しているチームと認められた場合、同様の措置を適用する。

また、リレー種目において、国際大会出場によるインターハイ辞退者が複数名含まれた場合、補員を増やすことを可能とする。辞退者が2名の場合は1名。3名の場合は2名の増員を可能とする。ただし、4名全員が辞退する場合は、予選競技参加者が不在のため補員の増員は行わない。

ただし、ウ・オについてその理由書（特別措置申請書）を都道府県委員長に提出し、その後、都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長は、下記申込先へ提出すること。届出者は、当該学校長とする。

- (ア) 学校登録の各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- (イ) 地域高等学校体育連盟事務局のある都道府県高等学校体育連盟会長
- (ウ) 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長
- (エ) 全国大会開催都道府県高等学校体育連盟会長

(上記に関する出場措置は、次のように行う。)

(1) 個人種目について

- ア 予選会不出場、全国大会出場の場合は、地域大会3位まで+派遣選手とする。
- イ 予選会出場、全国大会不出場の場合は、繰上げを行い、地域大会の出場者を3名とする。
(注)各都道府県内の予選会から、代表選手を参加制限の人数の中に含めなければならない。

(2) リレー種目について

- ア 当該年度(4月2日以降)長水路の公式記録を採用する。(各個人の合計記録は認めない)
- イ チームとしては、都道府県予選会、地域大会には出場する。地域大会の記録を優先し、突破できなかった場合に適用する。(代表選手が出場した場合は除く)

カ 標準記録

種 目	男 子	女 子	
自 由 形	50m	24.09	27.15
	100m	52.45	58.81
	200m	1:54.51	2:06.83
	400m	4:03.47	4:26.41
	800m		9:11.13
	1500m	16:14.25	
背 泳 ぎ	100m	59.03	1:05.08
	200m	2:08.74	2:19.56
平 泳 ぎ	100m	1:04.42	1:12.84
	200m	2:19.22	2:35.71
バタフライ	100m	56.03	1:02.68
	200m	2:04.05	2:18.19
個人メドレー	200m	2:08.20	2:22.63
	400m	4:33.44	5:02.46
フリーリレー	4×100m	3:36.31	4:02.26
	4×200m	7:52.81	8:45.98
メドレーリレー	4×100m	3:56.68	4:26.16

社会の情勢により、出場制限を行う場合がある。

2. 参加制限

1校1種目3名以内、1名2種目以内（ただし、リレー種目を除く）とする。

3. 参加申込

(1) 申込書類

ア「A. 競泳（男女別）参加種目別一覧表及び学校長認知書」……（複写式4枚綴り）

(ア) 会場地事務局送付用（複写1枚目）

(イ) 宿泊申込書添付用（複写2枚目）

(ウ) 都道府県高等学校体育連盟事務局提出用（複写3枚目）

(エ) 地域大会主管団体提出用（複写4枚目）

イ「B. 参加校別選手数一覧及び参加料納入書」……（ダウンロードにより2枚作成）

(ア) 会場地事務局送付用

(イ) 都道府県高等学校体育連盟水泳専門部控用

ウ「C. 大会バックアップデータ（全データ）」

各地域大会における大会バックアップデータ（全データ）。

エ「D. 競技会申し込み（エントリーTIME）一覧表、競技会申し込み（リレー）一覧表」

（Web-SWMSYSで集計、印刷したもの）

Web-SWMSYSによりエントリーを行い、その集計・印刷した書類

※ 競技会申し込み（リレー）一覧表は、リレー種目出場校のみ必要。

(2) 申込方法

ア 参加校が作成・手続き・保管するもの

(ア) 「A. 競泳（男女別）参加種目別一覧表及び学校長認知書（以下、「A. 学校長認知書」という。）」

全国大会への参加資格を取得した選手またはチームは「A. 学校長認知書」を作成し、地域大会の期間中に、「地域大会主管団体提出用」（複写4枚目）を地域大会主管団体に提出し、残り3枚は持ち帰る。

※ 引率者、リレー種目の補員については原則記入とするが各都道府県の高等学校体育連盟（以下、この項においては「高体連」という。）水泳専門部へ提出する際に記入してもよい。

(イ) 地域大会終了後、持ち帰った「A. 学校長認知書」（複写式1、2、3枚目）に学校長印・顧問印を押印した上で、各都道府県高体連水泳専門部によって定められた申込日までに提出する。

(ウ) Web-SWMSYSによりエントリーを行い、集計処理後、「D. 競技会申し込み（エントリーT I M E）一覧表、競技会申し込み（リレー）一覧表」を印刷し、各都道府県高体連水泳専門部によって定められた申込日までに提出する。「担当者欄」に顧問印を押印しておくこと。

※ 競技会申し込み（リレー）一覧表は、リレー種目出場校のみ必要。

イ 各都道府県高体連水泳専門部が作成・手続き・保管するもの

(ア) 「B. 参加校別選手数一覧及び参加料納入書」

「翔び立て若き翼 北海道総体 2023」ホームページから「B. 参加校別選手数一覧及び参加料納入書」の様式をダウンロードして参加申込期限までに2部作成する。1部は参加料振込証明書（各金融機関の振込金受取書又はA T M利用明細票等）を添えて全国大会会場地実行委員会事務局（以下「会場地事務局」という。）へ送付する。残り1部は各専門部の控えとする。

なお、作成したデータは会場地事務局へメール添付して提出すること。

(イ) 「A. 学校長認知書」

各学校から提出された「A. 学校長認知書」を2部コピーし、1部ずつ参加校および各専門部の控えとするとともに、残りの3枚は次の送付先へ送付する。

1 会場地事務局送付用（複写1枚目）……会場地事務局へ

2 宿泊申込書添付用（複写2枚目）……宿泊申込書に添付し、宿泊申込先へ

3 都道府県高体連事務局提出用（複写3枚目）……各都道府県高体連事務局へ

(ウ) 「D. 競技会申し込み（エントリーT I M E）一覧表、競技会申し込み（リレー）一覧表」

「D. 競技会申し込み（エントリーT I M E）一覧表、競技会申し込み（リレー）一覧表」は、会場地事務局へまとめて送付する。

※ 競技会申し込み（リレー）一覧表は、リレー種目出場校のみ必要。

ウ 地域大会主管団体が作成・手続き・保管するもの

(ア) 「A. 学校長認知書」

地域大会の期間中に参加校から提出された「A. 学校長認知書」の内容を確認し、3枚（複写式1、2、3枚目）を参加校に返却する。「地域大会主管団体提出用」（複写式4枚目）は、地域大会主管団体にて保管する。

(イ) 「C. 大会バックアップデータ（全データ）」

地域大会終了後3日以内に会場地事務局にメール添付によりデータを提出し、正常に読み取り処理ができたことを確認すること。

(3) 申込先

ア 会場地事務局

大会要項参照のこと。

(4) 申込期限 2023年7月27日（木）正午 必着

ア 地域大会終了後、各都道府県高体連水泳専門部委員長は、本大会選手数を、当該都道府県高体連事務局に届け出ることを義務とする。

イ 申込書類については、必ず簡易書留郵便で送付すること。

(5) 「翔び立て若き翼 北海道総体 2023」ホームページ

<http://www.koukousoutai.com/2023soutai/>

4. 参加料

(1) 1人 4,500円

(2) 納入方法

ア 参加申込と同時に各都道府県高体連水泳専門部委員長が取りまとめ、各金融機関の振込依頼書又はA T M等を用いて、振り込むこと。

イ 振込先 大会要項参照のこと。

(3) 参加取消に伴う納入金の取り扱い

ア 参加申込期限日までの取消については返金する。ただし、振込手数料を差し引いた額とする。

イ 参加申込期限日後の取消については、返金しない。

◇引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、当該都道府県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督・コーチ等は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
ただし、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

◇得点(選手権校決定)

- (1) 学校対抗とし、選手権獲得校の決定方法は、以下による。
個人種目は、1位16点、2位15点…16位1点とし、リレー種目は1位32点、2位30点…16位2点とする。同着の場合は、次の順位を欠位とし、得点は欠位の得点を加え等分した得点をそれぞれに与える。B決勝を行わない個人種目は、決勝進出者を除く予選9位8点…16位1点を与える。リレー種目は決勝進出チームを除く予選9位16点…16位2点とする。なお、16位同着については得点の1/2をそれぞれに与える。(決勝へ繰り上がった場合は、決勝での得点を与え、予選順位は空位とする。)総合得点の最も多い学校を優勝校とする。
総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。
 - 1 リレー種目による得点の多い学校
 - 2 入賞者数の多い学校(ただし、リレー種目は4と計算する。)
 - 3 1位の数
 - 4 2位の数(以下、8位までこれにならう。)

◇ドーピング検査

- (1) 本競技会は、日本アンチドーピング規定が適用される。
- (2) 大会当日18歳未満の参加者は、18歳未満競技者親権者同意書を必要とする。
(様式はJADAホームページよりダウンロードすること)

◇表彰

- 優秀な成績を収めた者を表彰する。
- (1) 男女とも各種目の第3位までにメダルならびに賞状を授与し、その栄誉を称え表彰する。また、第4位から第8位までには賞状を授与する。
 - (2) 総合成績
男女とも優勝校および第2位・第3位の学校の栄誉を称え表彰する。また、第4位から第8位までの学校には賞状を授与する。
優勝校には優勝杯を授与する。
男子 高松宮記念杯・(公財)全国高等学校体育連盟会長杯・文部科学大臣杯・NHK盾・読売新聞社杯
女子 高松宮妃記念杯・(公財)全国高等学校体育連盟会長杯・文部科学大臣杯・NHK盾・読売新聞社杯
 - (3) 前年度優勝校にはレプリカを授与する。
 - (4) 3大会連続で優勝したもの(同一種目、リレー種目は除く)を優秀選手として表彰する。
 - (5) オリンピック等国際大会出場者は、3大会連続優勝した選手とは別に特別優秀選手として表彰する。

◇組合せ会議

2023年8月1日(火)10時00分 江別市セラミックアートセンターにおいて組合せ会議を行う。

◇公式練習の日程及び会場

場 所	期 間				
	16日 (水)	17日 (木)	18日 (金)	19日 (土)	20日 (日)
北海道立野幌総合運動公園 水泳プール メインプール 50m屋内 8レーン	9時00分 ～ 17時00分	7時30分 ～ 9時10分	7時30分～9時15分		
		競技終了後～19時00分			
北海道立野幌総合運動公園 水泳プール サブプール(飛込プール) 22m屋内 8レーン		7時30分～19時00分			7時30分 ～ 閉会式前
北翔大学 25m屋内 6レーン 江別市文京台23番地	9時00分 ～ 16時00分	7時30分～16時30分			7時30分 ～ 13時00分

◇会 議

会 議 名	日 時	会 場
組合せ編成会議	7月28日(金)～8月1日(火) 組合せは8月1日(火)に開催	江別市セラミックアートセンター 研修室 江別市西野幌114番地の5
水泳専門部常任委員会	8月16日(水)11時00分～13時00分	北海道立野幌総合運動公園体育館 研修室A
監督者会議	8月16日(水)16時00分～17時30分	北海道立野幌総合運動公園 水泳プール スタンド席 江別市西野幌481番地
全国高体連水泳専門部会	8月17日(木)18時30分～20時00分	江別市セラミックアートセンター 企画展示室 江別市西野幌114番地の5

◇宿 泊 宿泊については、開催地実行委員会宿泊要項による。

◇個人情報及び肖像権に関わる取扱いについて

大会参加申込書等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取扱いに関しては、大会要項の最終ページを参照すること。

◇連絡事項

- (1) プログラムの無償配布は、全国高等学校総合体育大会開催基準要項による。
- (2) 競技中の疾病、負傷等の応急処置は主催者側において行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (3) 引率責任者は選手の行動に対して責任を負うものとする。
- (4) 閉会式は表彰を受けるチームと開催地域選手団から編成する。(閉会式については後日連絡する。)
- (5) 選手の大会期間中における本会場の開門時刻は、原則として「公式練習の日程及び会場」の使用開始時刻とする。
- (6) 駐車場の利用については、HPに掲載する注意事項を随時確認すること。

- (7) 大会会場の入場については監督者会議にて連絡する。
- (8) 観覧席の地区割振り等については、別途計画し、監督者会議で示す。
- (9) 会場でのプライベートテントの使用はできない。
- (10) 新型コロナウイルス感染症対策については「全国高等学校総合体育大会実施時における新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針」、国、開催地自治体、中央競技団体及び業界団体が定めるガイドライン並びに競技専門部及び開催地実行委員会が示す感染防止対策に従うものとする。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、基本方針や各ガイドライン及び感染症防止対策の内容が変更されることがあるため、参加者は記載内容の変更を適宜確認すること。

◇問合せ先 大会要項参照のこと。